



とやま
呉西圏域
連携中枢都市圏

第3期都市圏ビジョンの概要について

第3期ビジョンの策定について

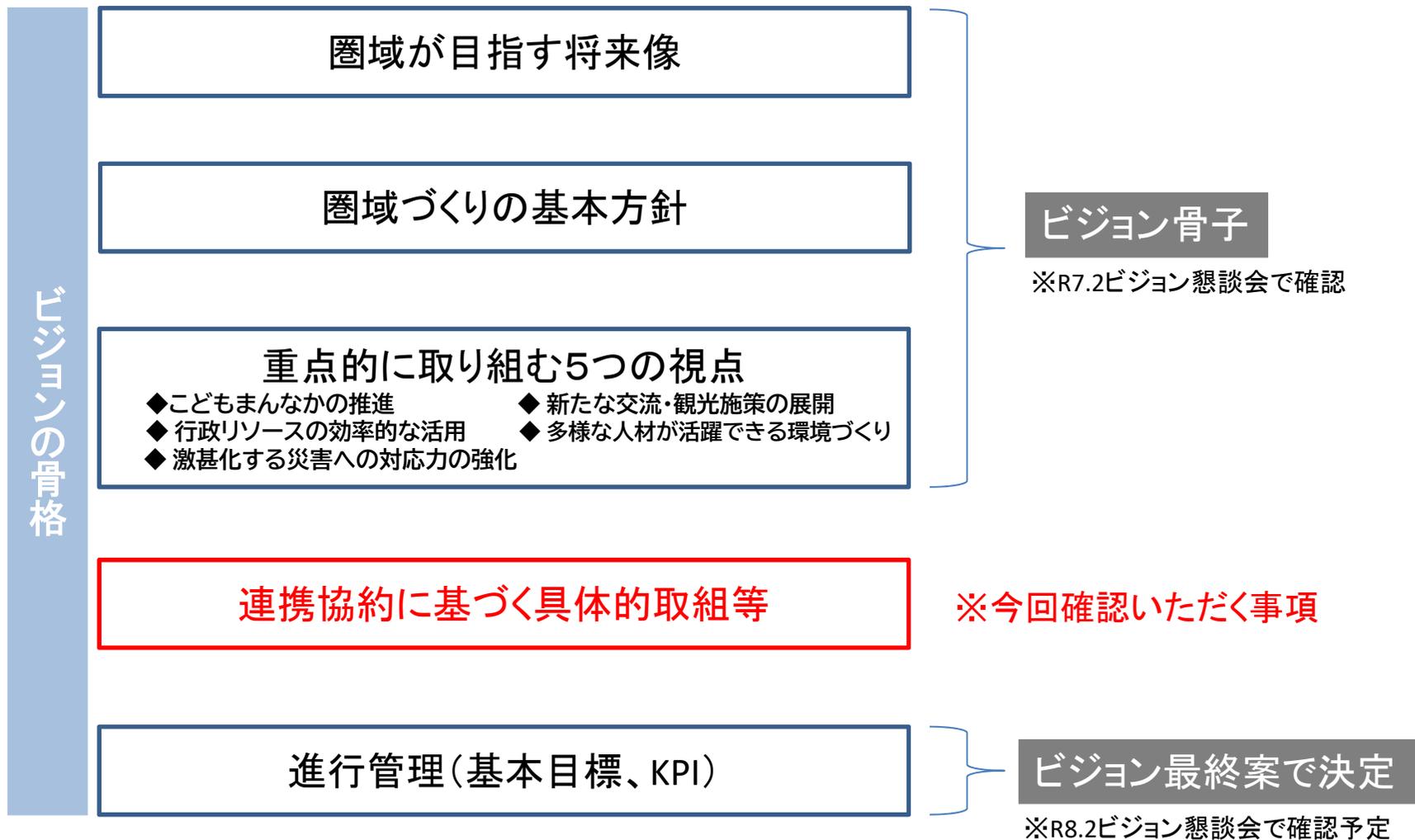
都市圏ビジョンの策定の趣旨

- 都市圏ビジョンは、人口減少・少子高齢化社会においても、一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することを目的とする「連携中枢都市圏構想」に基づき、圏域の将来像や将来像実現のための具体的な取組を定めるもの
- 現行のビジョンは、計画期間が令和7年度までとなっており、
 - ・加速化する人口減少・少子化対策への対応
 - ・激甚化する災害への対応力の強化
 - ・北陸新幹線敦賀開業を契機とした新たな交流・観光施策の展開などの新たな課題に直面している。
- これらの課題に対応するためには、6市による連携の枠組みを維持、強化する必要性がますます増加しており、圏域全体の経済を持続可能なものとし、住民が将来にわたって安心して快適な暮らしを営んでいけるよう、令和8年度を始期とする第3期ビジョンを策定する。

計画期間

2026年度(R8年度)から2030年度(R12年度)の5年間

第3期ビジョンの策定について



第3期ビジョンの策定について

令和6年度

令和7年2月18日 ビジョン懇談会

令和7年度

令和7年8月19日 ビジョン懇談会
第3期ビジョン素案の確認

令和7年10月～11月 パブリックコメント

令和8年2月 ビジョン懇談会
・第3期ビジョン最終案の確認
・連携協約の一部を変更する連携協約を締結

令和8年度～

第3期ビジョン開始

ビジョン骨子の決定

- ・連携事業の調整
- ・ビジョン素案の作成

ビジョン素案

- ・意見の反映（パブコメ、委員等）
- ・KPIの設定

【12月議会】
連携協約の変更協議

ビジョン策定

第3期都市圏ビジョン(素案)の概要について

圏域が目指す将来像

とやま呉西圏域の将来像

環日本海の中核拠点

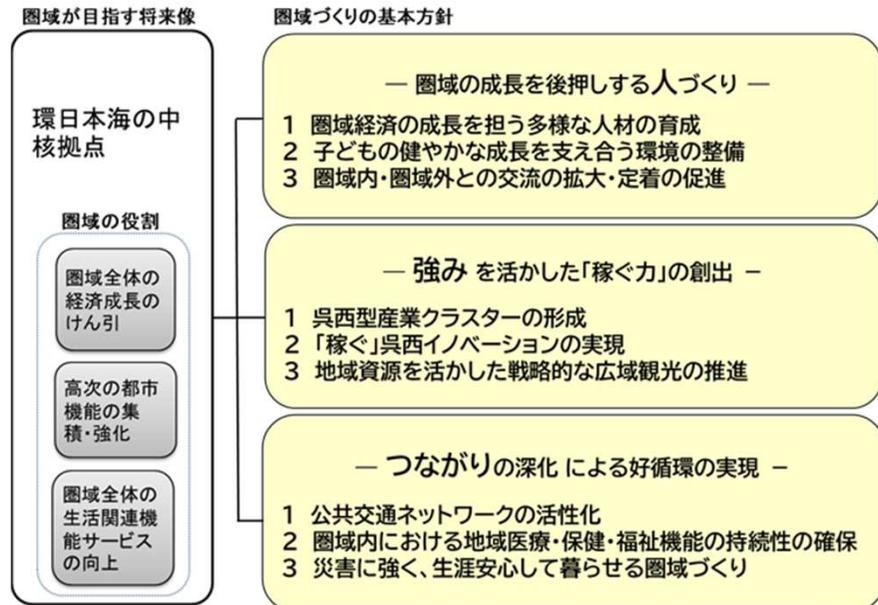
高速道路や鉄軌道、港湾等が集結する広域交通の結節点であり、国内のみならず、日本海対岸諸国も視野に入れた広域的な交流・交易拠点という圏域の特色を活かし、連携中枢都市圏としての本来的な役割を果たしながら、「環日本海の中核拠点」を目指す。

連携中枢都市圏としての拠点形成を活かした新たな取組、これまで重層的に進めてきた各種連携プログラムの充実・強化、さらに、各市の総合戦略における人口減少対策などを網羅的に進めることにより、30万人の人口規模を維持する圏域の形成を図る。

圏域づくりの基本方針

圏域の「人」、「強み」、「つながり」の活用・充実を大きな柱とした9つの基本方針を設定。

基本方針に基づき、本圏域の連携中枢都市圏としての役割を果たすとともに、圏域各市の機能分担を図りながら、産業、観光、地域交通、医療・福祉等、各分野における連携施策に取り組む。



第3期都市圏ビジョン(素案)の概要について

将来像に基づく9つの基本方針

「人」－圏域の成長を後押しする人づくり－

人口減少・少子高齢化をはじめとする圏域が抱える課題を克服し、圏域の成長を後押しする人材の育成を推進。

- ① 圏域経済の成長を担う多様な人材の育成
- ② 子どもの健やかな成長を支え合う環境の整備
- ③ 圏域内・圏域外との交流の拡大・定着の促進

「強み」－強みを活かした「稼ぐ力」の創出－

圏域の特色である金属製品産業等の更なる集積や多彩な観光資源を活用した広域観光の推進により、「稼ぐ力」を創出する取組を展開する。

- ① 呉西型産業クラスターの形成
- ② 「稼ぐ」呉西イノベーションの実現
- ③ 地域資源を活かした戦略的な広域観光の推進

「つながり」－つながりの深化による好循環の実現－

圏域をつなぐ公共交通ネットワークの活性化を通じ、人・もの・情報の交流の更なる活性化を図るとともに、医療・保健・福祉機能の持続性の確保や、災害時に備えた連携の強化等により、圏域におけるつながりの強化と支え合いの循環を推進。

- ① 公共交通ネットワークの活性化
- ② 圏域内における地域医療・保健・福祉機能の持続性の確保
- ③ 災害に強く、生涯安心して暮らせる圏域づくり

第3期都市圏ビジョン(素案)の概要について

重点的に取り組む5つの視点

圏域が直面している新たな課題に対応するための重点的な取組

◆ こどもまんなかの推進

圏域内のこども・若者が幸福な生活を送ることができるよう、こどもをまんなかに据え、こどもや子育ての当事者を圏域内で連携して支える取組みを推進。

◆ 激甚化する災害への対応力の強化

能登半島地震を踏まえ、近年激甚化する災害への対応力の強化に取り組む、安心して暮らせる圏域づくりを推進。

◆ 多様な人材が活躍できる環境づくり

若者や女性、高齢者や外国人材など多様な人材が地域や企業と関わり合いながら、活躍できる圏域づくりを推進。

◆ 行政リソースの効率的な活用

人口減少に伴う人材不足や施設・インフラの老朽化などの課題に対応し、持続可能な行政サービスの提供を維持するため、圏域内の行政リソースの相互活用を推進。

◆ 新たな交流・観光施策の展開

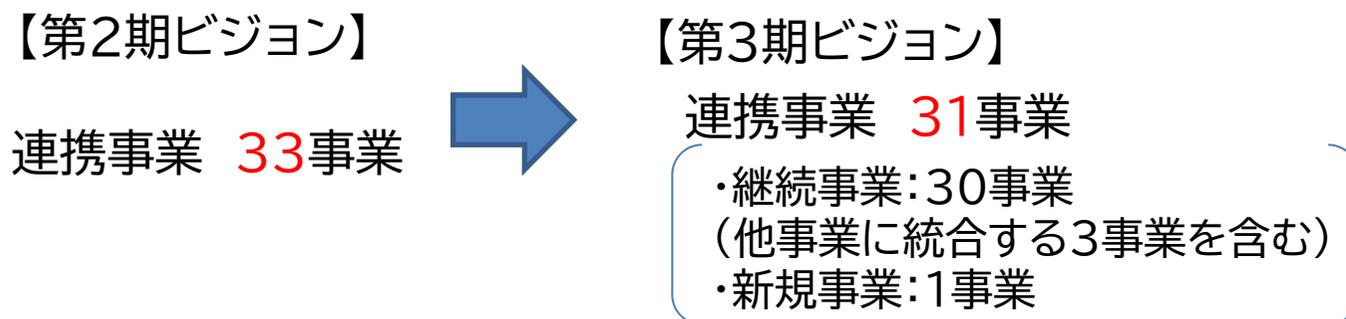
インバウンド需要の高まりや、北陸新幹線金沢敦賀間開業などの機会を捉え、地域の観光資源を活かした戦略的な広域観光施策を推進。

第3期都市圏ビジョン(素案)の概要について

第3期ビジョンに位置付ける連携事業のポイント

第2期ビジョン連携事業の見直し・拡充

- 中間評価を踏まえ 事業手法の見直し、事業の整理・統合
- 重点的な5つの視点を取り入れた見直し
- 将来的な連携を見据えた新たな事業の創出



富山県との強化に向けた取組の拡充

- 移住・定住の促進
- 企業と学生や求職者とのマッチング機会の創出
- 企業誘致の推進

第3期ビジョンに位置付ける主な連携事業

「人」－圏域の成長を後押しする人づくり－

とやま呉西圏域共創ビジネス研究所運営事業

行政
リソース

多様な
人材活躍

【取組概要】

地域課題を地元中小企業のビジネスにつなげることで、民間活力による住民サービスの向上と地元中小企業間の「共創」による活性化を図ることを目的に、富山大学と連携したゼミ形式の講座を運営する。



＜3期に取り入れるポイント＞

修了生の活動や取組が圏域内で共有・展開されるよう、6市でのフォロー体制を整える（修了生の取組の見える化・発信力強化）。

第3期ビジョンに位置付ける主な連携事業

「人」－圏域の成長を後押しする人づくり－

ICT教育環境に関する調査・研究事業

こども
まんなか

【取組概要】

ICTを活用した教育環境の整備を図るため、各市の取組状況や先進事例等を6市間で共有するとともに、授業改善に向けた取組について調査・研究を進める。

< 3期に取り入れるポイント >

子どもの主体性を引き出すため、学び合いの手法を取り入れる。



第3期ビジョンに位置付ける主な連携事業

「人」－圏域の成長を後押しする人づくり－

スポーツ交流人口拡大推進事業

こども
まんなか

行政
リソース

【取組概要】

スポーツの振興を通じて地域の活性化を図るため、各市で開催されるスポーツ大会、イベント等の連携強化や各市のスポーツ施設の相互利用の促進により、圏域内外のさらなる交流を図る。

< 3期に取り入れるポイント >

特に小中高校生を対象にしたスポーツ交流を促進するイベントを企画・実施する。



第3期ビジョンに位置付ける主な連携事業

「人」－圏域の成長を後押しする人づくり－

健康づくりでお出かけ促進事業

こども
まんなか

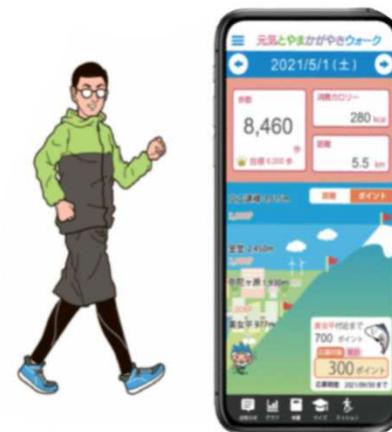
行政
リソース

【取組概要】

地域振興に資する活力を維持・促進するため、健康づくりに関心がある人や子育て世代をはじめとする圏域住民の健康づくりに向けた外出の機会を創出する企画及びPRを検討する。

< 3期に取り入れるポイント >

- ・より効果的な情報発信とするため、ポータルサイトによる発信からSNS等による発信に切り替える。
- ・子育て世帯の向けの、インセンティブ付与を付与する。



第3期ビジョンに位置付ける主な連携事業

「強み」－強みを活かした「稼ぐ力」の創出－

伝統産業連携PR事業

こども
まんなか

【取組概要】

圏域内における伝統産業の魅力を広く伝えるため、伝統産業製品の展示・販売に加え、製作体験等を通し触れて学ぶ機会を創出するなど、積極的なPRに取り組む。



< 3期に取り入れるポイント >

小中学生が楽しく伝統工芸品の魅力に触れ、学べる機会を設ける。

第3期ビジョンに位置付ける主な連携事業

「強み」－強みを活かした「稼ぐ力」の創出－

呉西観光誘客推進事業

交流・観光

(1) インバウンド等向けの商品開発

【取組概要】

さらなる観光誘客を図るため、圏域の多彩な観光資源(自然・文化・産業遺産等)を活用したPRを実施する。

< 3期に取り入れるポイント >

北陸新幹線敦賀開業や北陸デスティネーションキャンペーンの効果の持続のため、連携した観光プロモーションやインバウンド等に向けた各市の強みを活かした旅行商品を開発する。



(2) 観光マーケティングの強化

【取組概要】

6市で連携したデータの収集・分析による効率的な観光マーケティングを実施する。

< 3期に取り入れるポイント >

6市それぞれが持つ地域の魅力を発掘・集約し、観光客のニーズに合わせた体験プランなどを提供する。



第3期ビジョンに位置付ける主な連携事業

「つながり」－ つながりの深化による好循環の実現－

新規

保健・医療サービスに係る連携促進事業

こども
まんなか

行政
リソース

【課題】

- ・地方においては、地域医療の担い手不足により、単体の自治体や個々の医療圏では現状の地域の医療体制を今後維持できなくなっていくことが危惧されている。
- ・住民が安心して暮らし続けられるよう、市域や医療圏の枠組みを越えて地域の医療体制や住民の健康的な生活を支援する体制の構築が必要となっている。



【取組概要】

将来的な連携を見据えて、保健・医療サービスの分野における各市の状況や取組を共有するとともに、医療従事者の確保や住民の健康づくりを目的とする保健サービス(生活習慣病予防やフレイル対策等)の充実に向けた検討を進める。

第3期ビジョンに位置付ける主な連携事業

「つながり」－ つながりの深化による好循環の実現－

広域的公共交通ネットワーク強化事業

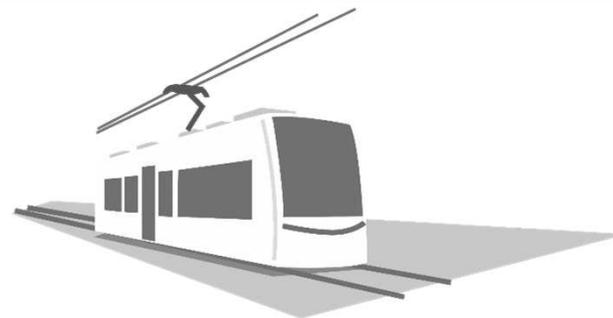
こども
まんなか

【取組概要】

安全で持続可能な公共交通の実現に向け、将来のまちづくりに関わる子ども等に向けたマイルール意識や愛着の醸成を図るとともに、城端線・氷見線沿線地域公共交通計画等に基づく各種施策の展開により、鉄道を骨格とした公共交通ネットワークの活性化を図る。

< 3期に取り入れるポイント >

城端線・氷見線により親しんでもらうため、沿線イベントとタイアップした子ども向けの企画を実施する。



第3期ビジョンに位置付ける主な連携事業

「つながり」－ つながりの深化による好循環の実現－

広域防災連携事業

災害
対応力

多様な
人材活躍

(1) 地区防災強化に向けた防災士育成

【取組概要】

圏域内で連携して地域の防災リーダーとなる防災士を育成し、地区防災計画の推進や、自主防災組織の活動の支援・活性化による防災力の強化を図る。

< 3期に取り入れるポイント >

- ・男女共同参画の視点から防災を推進するため、女性防災士等を講師とした講習等を実施する。
- ・災害時における外国人支援のため、外国人支援ボランティア等を講師とした講習等を実施する。



(2) 災害備蓄及び防災備品等情報連携

【取組概要】

隣接市の住民の避難に際し、市域を超えた避難所への受入れを行うとともに、圏域の災害備蓄計画を策定し、主に資機材及び備品の連携備蓄を図る。

< 3期に取り入れるポイント >

- ・女性や子供、高齢者等、多様なニーズに対応できるよう災害備蓄品の充実を図る。
- ・各市の備蓄状況を圏域間で共有し、融通し合う体制づくりを整えることで、円滑かつ迅速な被災者支援に努める。



(参考資料)とやま呉西圏域の現状①

圏域の人口

総人口は**426,159**人(令和2年国勢調査)

1985年(昭和60年)の491,217人をピークに減少傾向が続いている。

圏域の総人口と将来推計人口

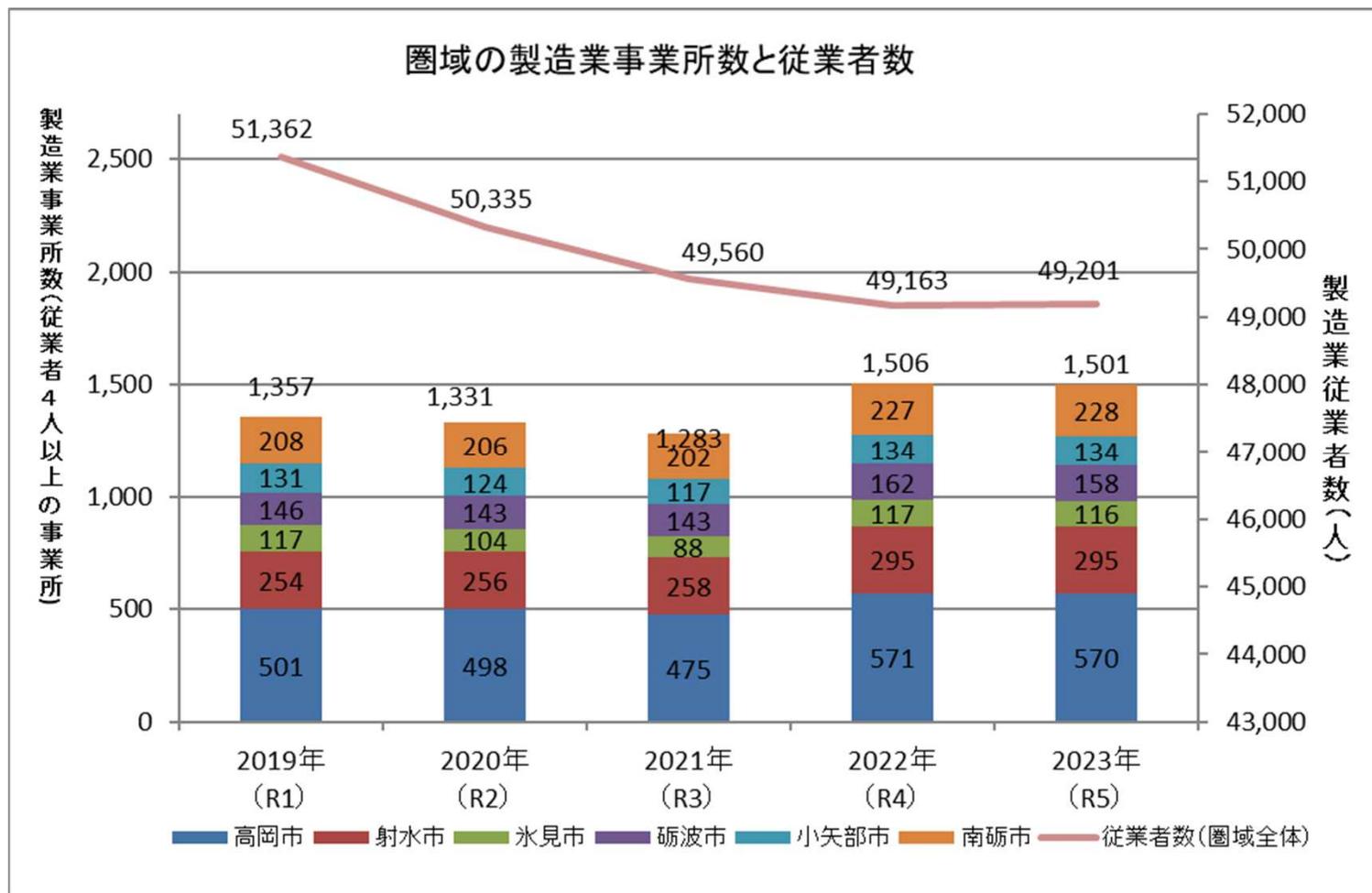
(単位:人、%)

	総人口	将来推計人口				増減率 (R2—R42)
	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年	
	(R2)	(R12)	(R22)	(R32)	(R42)	
高岡市	166,393	151,998	135,667	119,270	102,815	▲38.1
射水市	90,742	84,803	77,777	70,502	62,823	▲30.1
氷見市	43,950	35,522	28,356	21,973	16,540	▲62.4
砺波市	48,154	45,125	41,700	37,730	33,259	▲30.9
小矢部市	28,983	24,662	20,865	17,263	14,070	▲51.5
南砺市	47,937	39,572	32,339	25,965	20,483	▲57.3
とやま呉西圏域	426,159	381,682	336,704	292,703	249,990	▲41.3

(参考資料)とやま呉西圏域の現状②

圏域の産業

・工業

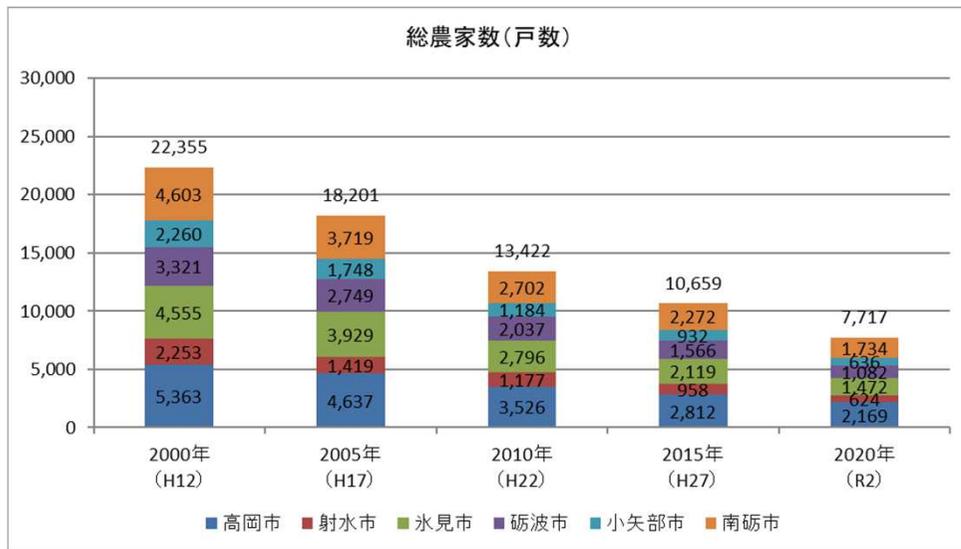


(参考資料)とやま呉西圏域の現状③

圏域の産業

・農業・漁業

総農家数(戸数)



漁業経営体及び就業者数



(参考資料)とやま呉西圏域の現状④

圏域の産業

・観光

